



いわき市におけるGSMの取組み

いわき市総合政策部創生推進課

グリーンスローモビリティシンポジウム
2019年11月1日（金）14時～
福岡市 電気ビル共創館 4F 電気ビル未来ホール





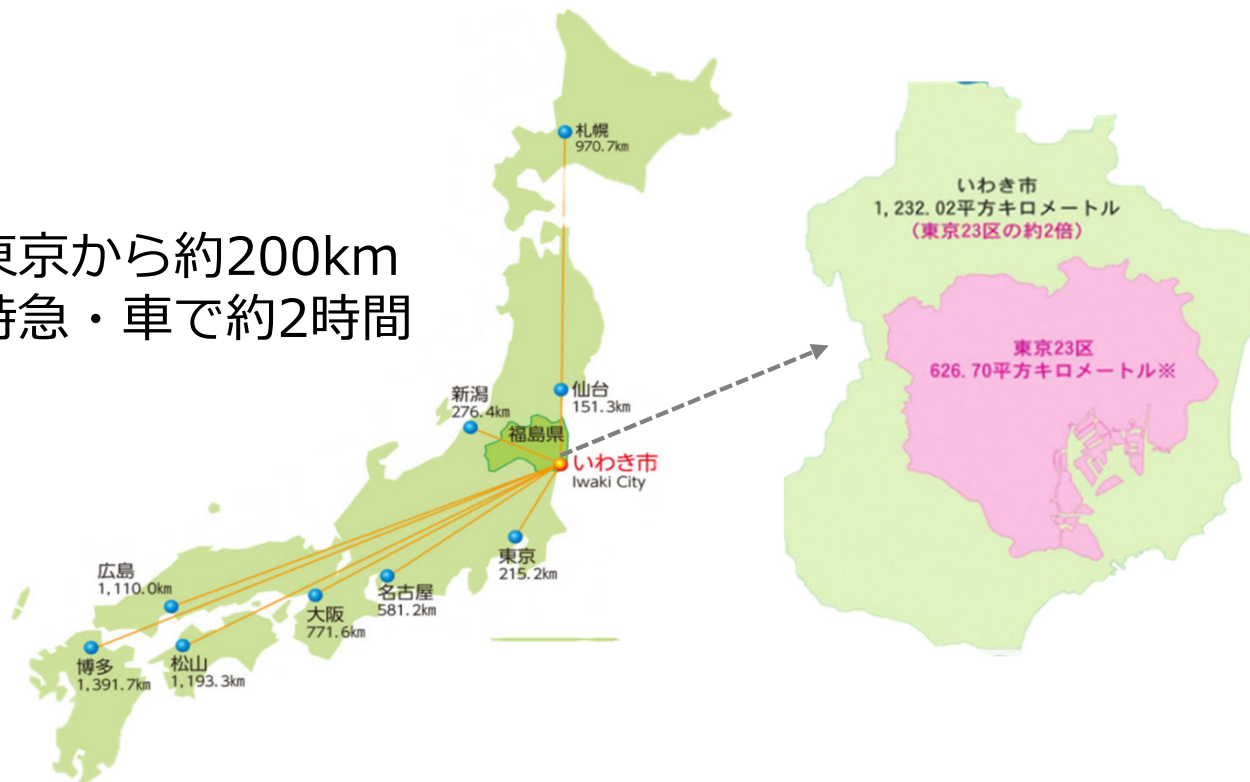
1. 本市の概要
2. これまでの取組み
3. 今後の取組み



1. 本市の概要



東京から約200km
特急・車で約2時間



人口 : 350,237人

面積 : 1,232km²

昭和41年に14市町村が
合併し誕生
広域多核分散型の都市構造

自家用車依存の都市構造

自家用自動車分担率が中核市でトップ

順位	自治体名	自家用車 分担率	就業・通学者	
			総数	自家用車利用者
1位	いわき市	76.6%	154,814	118,520
2位	富山市	74.3%	209,637	155,796
3位	前橋市	72.5%	159,831	115,865
4位	八戸市	72.3%	109,464	79,138
5位	高崎市	71.3%	170,902	121,854
7位	郡山市	69.1%	146,116	100,993
10位	宮崎市	66.1%	185,604	122,748
20位	長野市	61.5%	186,878	114,949
30位	和歌山市	49.9%	163,127	81,480
40位	横須賀市	23.4%	185,210	43,317
48位	尼崎市	14.5%	206,728	29,884

公共交通機関の徒歩圏カバー率

全国平均に比べ、公共交通による人口
カバー率が著しく低い

いわき市	全国平均
22.9% (78,375人)	55%



2. これまでの取組み



「グリーンスローモビリティ実証事業」を2018年度に実施

目的

観光拠点周辺地域における**回遊性の向上を図り、観光地としてのエリア価値の向上につなげる**もの

運行概要

- 実証地域**：小名浜地区 「小名浜アクアマリンパーク」周辺地域
- 期 間**：2018年10月30日(火)～11月12日(月)14日間
- 運行形態**：定時定路線型 平日：約4 km(25分)、土日約6 km(40分)
- 運行本数**：平日:10時10分～15時45分 7便 土日:9時30分～16時15分 7便
- 車 両**：eCOM-8 1台

運行実績

	乗車数	乗車率
平日(10日間)	407人	64.6%
土日(4日間)	239人	<u>94.8%</u>
合計(14日間)	<u>646人</u>	<u>73.2%</u>

＜利用者の傾向＞

- 男女別：男性約45% 女性約55%
- 年代別：30～70代

＜利用者の声＞

- 「スローなので景色を楽しめた」
- 「モビリティ自体が観光コンテンツになる」など、好意的な意見が大半を占めた。

総括

実証地域での**需要・導入効果は高い**

○事業化に向けた主な課題は次の2点

- ①「**利便性・効率性を高めるしくみづくり**」
- ②「**回遊性を高める仕組みづくり**」

⇒ 課題解決に向け、**ICT技術の活用等を検討**





動画



3. 今後の取組み



環境省「IoT技術等を活用したグリーンローモビリティの効果的導入実証事業」の実施

目的

次世代交通システムの導入により、本市の交通課題の解消を図ることを目的に、官民が連携しICTクラウドシステムを活用したグリーンスローモビリティの実証運行を実施するもの

構成

いわき市  ×  SoftBank

地域まちづくり団体・交通事業者

取組内容

- 期間：2019年11月～2021年3月
- 地域：市内3地域(観光地、中心市街地、ニュータウン)
- 車両：eCOM-8 1台

【事業イメージ図】

クラウドシステム



スマホ



グリスロ
(低速小型EV)



実証の狙い

エリア1 小名浜地区【観光地】

- 観光地としてのエリア価値の向上
- エリア内の回遊性向上など



エリア2 平地区【中心市街地】

- 中心市街地の活性化
- 市民及び来訪者の交通便利性向上



エリア3 いわきニュータウン

- 高齢者等の移動手段の確保
- 団地内コミュニティの醸成

